

I. 2024 年度事業計画案

2024 年度の重点活動方針として以下の8点を実行します。

1. 母校への貢献 — 「青山学院万代基金」への協力

本年は、母校青山学院の創立 150 周年の記念の年でもあります。

青山学院校友会の目的は校友の親睦と母校への貢献であり、その校友には将来を担う在生学生も含まれます。母校への貢献として昨年度に創設された「青山学院校友会奨学金」への寄付を今年度も継続して募り万代基金に協力します。

2. 校友会活動のデジタル化推進

昨年よりリニューアルした校友会ウェブサイトには、校友会のすべての所属団体がウェブサイトを作成することができます。今年度は、サイト構築が完了していない団体のページ作成や記事投稿のサポートを充実させつつ、各団体のデジタル担当者同士のコミュニケーションを推進し、デジタル広報委員とデジタル担当者が一体となって、さらに効果的なサイトにするべく検討を進めていく予定です。

また、新ウェブサイトには、マイページ機能と会費徴収システムが搭載されました。マイページに登録することで新たな情報更新をいち早く知ることができるようになりましたが、まだその登録者が少ないので、より多くの方に認知していただけるようプロモーション活動をしていきます。会費徴収システムについては、利用団体からの希望を伺いながら少しずつ軌道に乗せていきたいと考えています。

懸念であった「あなたと青山学院」の制作・郵送コストの削減に向けても、デジタル化の側面から本格的に検討を始めます。

3. 広報活動の充実

校友会の広報紙として『あなたと青山学院』を学院と共同制作し、年 3 回、20 万人以上の校友に配付しています。電子ブック版の公式サイトへの掲載、学院と連携してウェブサイトや校友会 Facebook 等を通じて色々なニュースを発信していきます。

並行して、全国の校友が運営するお店を紹介する「青学商店街」は『あなたと青山学院』とウェブサイトの 2 つの手段を使って校友に紹介してきました。今年度もさらに掲載数を増やして校友のさらなる交流に繋げていきます。

また、『あなたと青山学院』の電子ブック版の利用を促進し、デジタル化するための検討を始めるとしたいと思います。

4. 在校生支援

1) 就職活動支援 — 大学部会と協力して実行

校友会にとって大学在生学生は準会員であると共に、将来の校友会活動を担う重要な要員でもあります。その大学生が希望に溢れて社会に巣立っていくために、大学の進路・就職部の指導方針のもと、引き続き多くの校友の協力を得て就職支援等の諸活動に注力します。

2) ボランティア支援、スポーツ支援、その他在校生による諸活動への支援

在校生のボランティア活動はサーバントリーダーシップを育み、スポーツの応援は愛校心を高めます。青山祭、相模原祭、文化祭、大学同窓祭など、在校生と校友が交流する機会を捉え、校友会はこれらの活動をオール青山の観点から支援します。また教育の国際化をさらに推進するため、海外支部と協力して学院のグローバル化に協力します。また支部やアイビーグループと協力して、駅伝チームや体育会系、文化系の学生活動を応援します。

5. 校友会活動の活性化

1) 次世代委員会

校友会活動に若い人たちも積極的に関わられるよう次世代委員会を立ち上げ、20代～30代の校友による校友会活動のためのサポートをします。若者の参加により、卒業後も母校と途絶えることなく関係が続いていくことで、母校の発展により寄与し、また、次世代の校友会を担う校友を育てていきます。

2) 部会・同窓会、支部、アイビーグループ活動への支援

充実した校友会活動のためには、その構成団体である部会、学部・学科同窓会、国内・海外支部、アイビーグループの活発な活動が不可欠です。そのため各々の団体と協力し、活性化に繋がる仕組みづくりを目指すと同時に、必要な事業を行います。

3) グリーンエリアの利用促進

昨年5月にコロナが5類になったことで、グリーンエリアの利用が少しずつ戻ってきています。コロナ禍にリニューアルしたグリーンエリアの設備やサービスを、今年度もぜひ校友の皆様にご利用いただき、校友の交流活動の活性化に繋げていきます。

6. 校友会員データの更新

部会・同窓会と連携し、逐次データの精度を高めていきます。また個人情報保護に配慮しながら様々な情報提供依頼に対応するよう努めます。学院と協力して将来の校友データベースの在り方を検討します。

7. 牧師を志す校友への就学支援

牧師、伝道者を志して神学校で学ぶ意志のある校友のために、その就学費用の一部を支援します。2016年度より施行し、2023年度も2名の方に支援を行いました。

2024年度もこの支援を続けてまいります。

8. 校友会の今後について

昨年は校友会創立130周年の年であり、今年は母校青山学院の創立150周年という記念の年にあたることから、8月に「青山学院創立150周年・校友会創立130周年記念チャリティーゴルフコンペ」の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

さらに、校友の福利厚生のため、母校青山学院からの強い要望もあり、IVYCS社を介しての校友会による団体保険制度の開始に向け、営利社団法人（株式会社等）を設立するなどの準備を始めます。校友会が出資し制御する法人を契約主体とすることで、法的責任が校友会に及ばないよう検討するなど、よりよい方法を模索して母校青山学院の要望に応えられるようにし、校友のより一層の福利厚生にも寄与できるようにしていく予定です。

また、前述の若い人たちが中心の、未来を見据えた「次世代委員会」の発足に加え、即戦力として校友会活動を担う人材の発掘・育成を行い、その人材が活動しやすい環境を整えることを検討します。